



塚越小だより



令和7年度 No.3
令和7年6月2日
蕨市立塚越小学校
048-442-2218



「朝清掃」

校長 竹越 典子

あじさいが美しく彩を添える季節になりました。
子供たちは、元気いっぱい、笑顔いっぱいに過ごしています。

塚越小学校では、令和6年度までは給食後に行っていた「清掃」を、今年度から「朝清掃」としました。清掃の時間は、私も各教室等をまわるのですが、今年度は、静かに黙々と頑張っている姿をより多く見ることが出来ます。

「清掃」を辞書で引いてみると、「そうじをすること。よごれやごみを取り除いて、きれいにすること。」とあります。そうです。もちろん、きれいにすることなのですが、それだけではないのです。実は、掃除をする意味で大切なことが、他にもあります。ここでは、二つ紹介させていただきます。

一つ目は、「心を整える」ということです。「校長先生!廊下そうじをしてきれいになったら、なんだか心もスッキリしました。」「教室がきれいになると、心が落ち着きます。」等の声を聞きます。きれいで整理整頓されている所にいると、心も整えられ(整理整頓され)落ち着いて生活できます。

二つ目は、掃除をすると「気配りのできる人になれる」ということです。子供たちを見ていると、決まった場所だけではなく、ドアのレールの溝や、椅子の足の裏まで掃除をしてくれています。自ら気づき、よりきれいになるよう頑張っています。

このように、気配りのできる人は、身の回りのことに気を配ることができて、相手の気持ちを考えることができる人です。きっと、困っている友達に「どうしたの」「大丈夫だよ」という心優しい、素敵な言葉をかけられる人なのかなと思います。

また、大谷翔平選手がゴミ拾いをする事で有名ですが、大谷選手は、ゴミ拾いを通じて、単なる清掃活動でなく、精神的な成長や運を意識した行動として注目されていますね。自分自身の心を磨いているのではないのでしょうか。

それでは、なぜ今までの昼の清掃から「朝清掃」にしたかと言いますと、上記に書かかせていただいたことはもちろんのこと、プラスアルファの要素を加えてみました。朝に清掃を行うことで、清潔で整った環境、また、整った心で、一日の学習を始めることができます。そして、適度な運動で、心だけではなく、身体の準備も整います。

今日も、黙々と静かな「朝清掃」で気持ちのよい一日をスタートできました。
本当に、自慢できる「塚越小の朝清掃」です。

